

授業科目名	【G】 特殊講義(行政学Ⅰ)	区分	開講年次	【G】3	単位数	【G】2		
科目区分	専門科目	選択						
授業形態	対面授業							
担当形態	単独							
施行規則に定める科目区分又は事項等								
サブタイトル	行政の原理について知る	担当者	武藤 桂一					
授業概要	【概要】	現代社会において行政は大きな役割を果たしており、今日の国家現象は「行政国家」とも呼ばれます。とりわけ、新型コロナウイルス感染症が猛威を振るったここ数年、我々は行政の動きに日々翻弄されてきました。しかしながら、こうした「行政」を我々は意識することなく他人任せにして、知らないうちに損をしている事が実は多いのです。本講義では、「行政」について学ぶことで皆さんが自らにとってより良い社会を作る一員となるための基盤を作ることを目指します。						
	【到達目標】	行政に関する基礎的知識を身に付けることで、日々のニュースが理解できるようになるだけでなく、報道されている事実からその背景となっている問題点などについて自ら掘り下げて考えることができるようになる。さらには、行政の在り方について他人と議論できるようになる。						
履修条件	将来公務員(国家公務員、自治体職員、警察官、消防士等)を目指す人はもちろん、「官僚」って何をやっているのだろうかとか、内閣はどうやって仕事しているのかとか、とにかく世の中について知ってやろうなどと思う全ての人の受講を望みます。							
アクティブラーニングの方法	【－】	事前学習型	【－】	反転授業	【－】	調査学習	【－】	フィールドワーク
	【○】	双方向アンケート	【－】	グループワーク	【－】	対話・議論型授業	【－】	ロールプレイ
	【－】	プレゼンテーション	【－】	模擬授業	【－】	PBL	【－】	その他
ディプロマ・ポリシーとの関連性	DP(ディプロマ・ポリシー)①	◎ (よく当てはまる)						
	DP(ディプロマ・ポリシー)②	－ (当てはまらない)						
	DP(ディプロマ・ポリシー)③	○ (やや当てはまる)						
	DP(ディプロマ・ポリシー)④	－ (当てはまらない)						
他科目との関連性	本講義は主に国(中央政府)の行政を扱います。都道府県や市町村の行政について知りたい方は「特殊講義(行政学Ⅱ)」も受講してください。両者は同時に受講することが好ましいですが、両講義の内容はそれ独立しているので、単独受講でも内容の理解に問題はありません。							
教科書	教科書は使用せずに毎回レジュメを配布しますが、主要参考文献として、風間規男編『新版 行政学の基礎』(一藝社、2018年、ISBN:4863591772)、曾我謙悟『行政学』(有斐閣アルマ、2013年、ISBN:4641124833)を挙げておきます。							
参考書	毎時間その回の講義内容に関連した文献を適宜提示します。							
評価方法	平常点(15点)及び到達度確認の試験(85点)による総合評価。平常点は、講義中に実施する講義アンケートに対する回答や受講態度等を反映して点数化します。							
フィードバック方法	毎回の講義においてリアクションペーパーの記入を求めます。その中で講義に関する質問については、次回以降の講義にて回答を配布します。							
評価基準	上記授業単元の内容につき、これをよく理解し、自ら行政について考察することができるものは「A」を与える(特に優れたものには「S」)。前記の理解や考察に不適切な点があるものはその程度に応じて「B」または「C」とし、単元の内容の理解自体が不十分なものはその程度に応じて「D」または「E」とする。課題の提出状況が芳しくないなど、評価不能な場合は「F」とする。							

授業科目名	【G】 特殊講義（行政学Ⅰ）	区分	開講年次	【G】3	単位数	【G】2
		選択				
授業回数	授業内容					
1	ガイダンス・行政学を学ぶ意義	予習： 行政に関するイメージを自分なりに持つ（60分）	復習： 行政学という学問分野の特色を他分野と比較考察する（120分）			
2	行政国家と行政	予習： 日々どのように行政と関係しているか考える（60分）	復習： 現代国家における行政の在り方について考察する（120分）			
3	政治と行政の関係	予習： 政府の活動に関する報道を収集する（60分）	復習： 政府が国家を運営していく上での問題点について考察する（120分）			
4	行政学の歴史	予習： 20世紀前半の世界史を復習する（60分）	復習： 政府が国家を運営していく上での問題点について考察する（120分）			
5	官僚制の理論	予習： 官僚制という言葉がどう使われているか探してみる（60分）	復習： 現代における官僚制の意義について考察する（120分）			
6	公務員制度と人事システム	予習： 公務員に関する報道を収集する（60分）	復習： 我が国の公務員制度の特徴と課題を考察する（120分）			
7	行政における組織	予習： 自らが属する諸組織の運営方法等について考える（60分）	復習： 行政組織の特徴とそれを踏まえた運営について考察する（120分）			
8	予算と財政	予習： 政府のお金の使い方に関する報道を収集する（60分）	復習： 我が国の財政の問題点について考察する（120分）			
9	政策決定過程	予習： 日々の生活でのものの決め方について考える（60分）	復習： 我が国における政策決定の特色について考察する（120分）			
10	政策の実施と評価	予習： 何かを評価するときはどうしているか考える（60分）	復習： 我が国における政策評価の意義について考察する（120分）			
11	行政改革	予習： 政府の無駄遣いに関する報道等を収集する（60分）	復習： 行政改革の真の問題点を考察する（120分）			
12	新たな公共の担い手	予習： NPOやボランティアについて情報を収集する（60分）	復習： 新たな公共の担い手についてその問題点を考察する（120分）			
13	行政活動の実際（1）福祉行政	予習： 身近に福祉と呼べるものに何があるか調べる（60分）	復習： 我が国の福祉行政の問題点について考察する（120分）			
14	行政活動の実際（2）教育行政	予習： 教育制度について問題点を考えてみる（60分）	復習： 我が国の教育行政の問題点について考察する（120分）			
15	講義のまとめと行政の今後の課題と到達度確認の試験	予習： 本講義を踏まえて我が国の行政の課題を考察する（60分）	復習： 行政に対して自らが何をできるか考察する（120分）			
その他	毎回の授業の最後に次回の予習内容を指示するので、参考文献、新聞、インターネット等を活用して内容の確認を行ってください。					